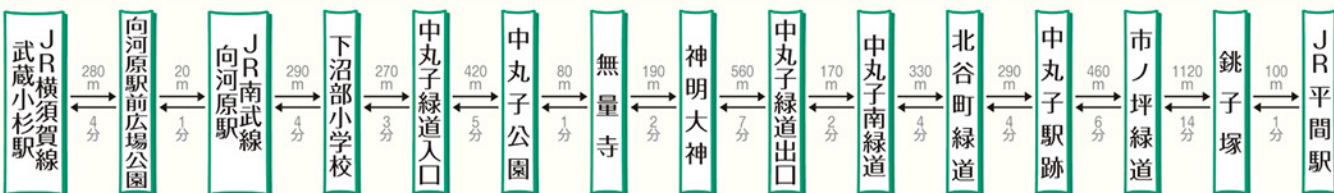


全長 4.6km 時間 58分



桜・ケヤキ・ヤブニツケイ・ハナミズキ・サツキなどの高木や低木、アジサイやワスレナグサなど四季折々の花が美しく咲く花壇があり、子供からお年寄りまで季節を通じて樹木や草花を楽しむことができます。コース中には日枝神社・大楽院があり、市の指定樹林や歴史に触れることができます。

神明大神は、羽黒権現として明暦2(1656)年に建立し、明治に神明大神となりました。新年の祭事「おびしゃ」では、藁で「雄シメ」「雌シメ」という一対の大きなしめ縄を作り、神社に奉納します。



貨物線路の跡を緑道とした所で、
高木のヤブニッケイ・低木のサツキ
など数多くの樹木がある公園です。
水飲み場・ベンチがあり、夏から秋
にかけて響きわたる蝉の声が印象的
です。



渋川を暗渠にした緑道です。地域の人達の努力で一年中花の絶えない公園となり、初夏に群れ咲くアジサイも見事です。玉川小学校の児童達による壁の絵も楽しい、やすらぎの場所です。

[illegible]

中丸子堀（新堀）を暗渠にしてつくられた緑道です。新緑の季節には鮮やかなヤマブキの花、続いてツツジの一群が色を添え、ハナミズキも優美な花を空に向け、緑道を彩ります。昔大きな水車がありました。が、関東大震災で焼失しました。

地域の方々の手入力で季節の美しい花壇が続き、充実した遊具や開放的な広場を備えた1年中子ども達の笑顔があふれる公園です。園内には有吉堤竣工100年を記念した石碑と解説版が設置されています。



明治40年、43年、大正2年、3年と引き続いて起こった多摩川大洪水の被害に泣いた住民たちがアミガサをかぶって決起し、築堤要求をしたのがアミガサ事件でした。これにより「郡道改修工事の名目」で堤防が造られ、住民も喜んでこの仕事に参加しました。完成した堤防は当時の県知事の名をとって「有吉堤」と呼ばれました。またこの堤防により中丸子の渡しや中州の耕作地は姿を消しました。

